
ファイルサーバ ご利用の手引き

第4.7版

2017年7月31日

近畿大学 総合情報システム部 (KUDOS)

制定・改訂履歴

版数	制改訂年月日	改訂内容
第1.0版	2008年2月14日	初版
第2.0版	2010年4月15日	<ul style="list-style-type: none">・アクセス対象として全学ファイルサーバを追加・アクセス元としてOSEC、MIPS、G館を追加・Windows VistaおよびWindows 7での接続方法について追加・38号館ファイルサーバ上のVine Linux用ホームディレクトリへのアクセス方法について追加
第3.0版	2011年9月13日	<ul style="list-style-type: none">・全学ファイルサーバ更改に伴う修正・WebDAVシステム導入による接続手順を追加・10号館第3実習室廃止に伴う修正
第4.0版	2012年9月3日	<ul style="list-style-type: none">・38号館ファイルサーバ更改に伴う修正
第4.1版	2012年9月10日	<ul style="list-style-type: none">・Macによる接続手順に関する加筆修正
第4.2版	2012年9月13日	<ul style="list-style-type: none">・SSHリモート接続手順の修正、Mac上ドライブアイコンに関する追記
第4.3版	2012年9月21日	<ul style="list-style-type: none">・SSHリモート接続手順の追加・修正
第4.4版	2012年12月18日	<ul style="list-style-type: none">・クライアント(Windows7)環境に合わせて加筆修正
第4.5版	2013年9月9日	<ul style="list-style-type: none">・33号館(OSEC)情報処理演習室更改に伴う修正
第4.6版	2015年1月8日	<ul style="list-style-type: none">・39号館 N202 の表記を 39号館 202 に修正
第4.7版	2017年7月31日	<ul style="list-style-type: none">・KUDOS 棟の PC 更改に伴う加筆修正

目次

1. 学内PC教室での利用方法	4
1-1 全学ファイルサーバのWindows/Macへのマウント	5
1-2 38号館ファイルサーバのLinux/Macへのマウント	6
2. リモート接続での利用方法	8
2-1 全学ファイルサーバへのリモート接続方法	9
2-1-1 全学ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows)	10
2-1-2 全学ファイルサーバへのリモート接続手順(Mac)	11
2-1-3 全学ファイルサーバへのリモート接続手順(各OS共通)	12
2-2 38号館ファイルサーバへのリモート接続方法	13
2-2-1 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows) Windowsファイル共有での接続の場合	16
2-2-2 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows) WindowsでSSH接続(Tera Term)の場合	17
2-2-3 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows) WindowsでSSH接続(Secure Shell Client)の場合	19
2-2-4 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows) FTPファイル転送での接続(FFFTP)の場合	20
2-2-5 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows) SFTPファイル転送での接続(WinSCP)の場合	22
2-2-6 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows) SFTPファイル転送での接続 (Secure File Transfer Client)の場合	24
2-2-7 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Mac) MacでSMB接続(Finder)の場合	26
2-2-8 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac) smbclientコマンドでの接続の場合	27
2-2-9 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac) sshコマンドでの接続の場合	28
2-2-10 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac) ftpコマンドでの接続の場合	29
2-2-11 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac) sftpコマンドでの接続の場合	30
2-2-12 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac) scpコマンドでの接続の場合	31
2-2-13 SSH/SCPの初期ディレクトリ変更手順	32

1 学内PC教室での利用方法

Windows系/Macの場合は、

全学ファイルサーバの個人フォルダや共有フォルダ

Linux系の場合は、

38号館ファイルサーバのホームディレクトリや共有ディレクトリが、それぞれのOSにログインした時点でマウントされます。

永続化が必要なデータを保存する場合は、上記マウントリソースを利用してください。

建物名	教室	Windowsドライブマウント	Macドライブマウント	Linuxマウント
KUDOS	多目的演習室2、第1～6リテラシー教室、第1・2自由利用教室	○		
	多目的演習室3	○		○
	コミュニケーションホール	○	○	
B館	302～307演習室	○		
C館	C-311～314	○		
G館	SIS1～SIS5	○		
18号館	コンピューター室202、302、401、501	○		
21号館	6階MIPS	○		
	2階LL教室	○		
33号館	OSEC	○		○
38号館	第5～9情報処理実習室	○		○
	第10情報処理実習室	○	○	○
39号館	202教室	○		

1-1 全学ファイルサーバのWindows/Macへのマウント

全学ファイルサーバは学内PC教室のPC(Windows/Mac)上で、それぞれのフォルダが下記のドライブ(アイコン)にマウントされています。

OS	項番	ドライブ(アイコン)名	用途
Windows/Mac	1	ホームディレクトリ(Z:)	個人用フォルダ
	2	全学Learningフォルダ(X:)	全学ファイルサーバ 共有フォルダ(Learning)

1-2 38号館ファイルサーバのMacへのマウント

38号館ファイルサーバは学内PC教室のMacでは、それぞれのディレクトリが下記のアイコンにマウントされています。

OS	項番	アイコン名	用途
Mac	1	vine38	38号館/OSEC Vine Linux 用ホーム領域
	2	scientific38	38号館/OSEC Scientific Linux 用ホーム領域
	3	scientific_KUDOS	KUDOS Scientific Linux 用ホーム領域
	4	learning	38号館ファイルサーバ 共有フォルダ(Learning)

1-2 38号館ファイルサーバのLinuxへのマウント

38号館ファイルサーバは学内PC教室のLinux(VirtualBox)上では、それぞれのディレクトリが下記のパスにマウントされています。

38号館(第5～10情報処理実習室)、33号館(OSEC)の場合

OS	項番	パス	用途
Vine Linux 6.0	1	/home/linuxfs/[ユーザID]	Vine Linux クライアントのホームディレクトリ
	2	/home/linuxfs/learning	共有ディレクトリ(Learning) (※1)
	3	/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]	Scientific Linux クライアントのホームディレクトリ
Scientific Linux 6.2	1	/home/linuxfs/[ユーザID]	Scientific Linux クライアントのホームディレクトリ
	2	/home/linuxfs/learning	共有ディレクトリ(Learning) (※1)
	3	/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]	Vine Linux クライアントのホームディレクトリ

KUDOS(多目的演習室3)の場合

OS	項番	パス	用途
Scientific Linux 6.9	1	/home/linuxfs/[ユーザID]	Scientific Linux クライアントのホームディレクトリ
	2	/home/linuxfs/learning	共有ディレクトリ(Learning) (※1)

※1 どなたでもデータを置いていただけますが、learningディレクトリ直下のファイル・ディレクトリの削除については所有者にしかできません。

2 リモート接続での利用方法

研究室や情報コンセントから、各ファイルサーバに下記のソフトウェアやコマンドで接続いただけます。

ご利用の教室	ご利用のOS	ご利用いただけるソフトウェア	ご利用プロトコル	リモート接続先						備考
				全学ファイルサーバ		38号館ファイルサーバ				
				Windowsホーム (z:ドライブ)	Windows Learning (x:ドライブ)	38号館/OSEC Vine Linux Home	38号館/OSEC Scientific Linux Home	KUDOS Scientific Linux Home	Linux Learning	
				500MB		1000MB		500MB		
東大阪キャンパス 各号館 PC教室 クライアント 情報コンセント 無線LAN 研究室	各OS 共通	KUDOS BASKET (※1)	HTTPS WebDAV	○	—	—	—	—	—	接続方法は「KUDOS BASKET利用の手引き」 (www.kudos.kindai.ac.jp/pdf/manual_80_2.pdf) をご確認ください。
	Windows	エクスプローラ等	CIFS(SMB)	○	○	○	○	○	○	
		Tera Term	SSH	—	—	○	○	○	○	
		FFFTP	FTP	—	—	○	○	○	○	
		WinSCP3	SFTP SCP	—	—	○	○	○	○	
	Mac	Finder	CIFS(SMB)	○	○	○	—	—	○	
	Linux /Mac	smbclient コマンド(※2)	CIFS(SMB)	—	—	○	○	○	○	
		sshコマンド	SSH	—	—	○	○	○	○	
		ftpコマンド	FTP	—	—	○	○	○	○	
		sftpコマンド	SFTP	—	—	○	○	○	○	
scpコマンド		SCP	—	—	○	○	○	○		

※1 KUDOS BASKETは自宅等の学外からもご利用いただけます。

※2 Mac OS X Mountain Lion(10.8) 以降ではご利用いただけません。SFTP等をご利用ください。

2-1 全学ファイルサーバへのリモート接続方法

全学ファイルサーバへのリモート接続方法一覧


ご利用の教室	ご利用のOS	利用いただけるソフトウェア	接続先	接続手順	参照先
東大阪キャンパス 各号館 PC教室 クライアント 情報コンセント 無線LAN 研究室	Windows	エクスプローラ等	個人フォルダ (Zドライブ)	¥¥163.51.27.226¥[ユーザID]	10ページ
			共有フォルダ(Learning) (Xドライブ)	¥¥163.51.27.226¥learning	10ページ
	Mac	Finder	個人フォルダ (Zドライブ)	メニューの [移動] - [サーバへ接続] にて smb://163.51.27.226/[ユーザID]	11ページ
			共有フォルダ(Learning) (Xドライブ)	メニューの [移動] - [サーバへ接続] にて smb://163.51.27.226/learning	11ページ
	各OS 共通	KUDOS BASKET (※1)	個人用ディレクトリ (Zドライブ)	https://basket.kudos.kindai.ac.jp	12ページ

※1 KUDOS BASKETは自宅等の学外からもご利用いただけます。

2-1-1 全学ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

『Windowsファイル共有での接続』の場合

⇒ ホームディレクトリに接続する場合

- ① [スタート] ボタン  をクリックし、検索ボックスに“¥¥163.51.27.226¥[ユーザID]” を入力します。
- ②入力後、Enterキー を押します。
※検索結果欄に表示されたフォルダ(ユーザID)をクリックしても同様の操作となります。
- ③ ユーザ名・パスワードを入力します。
※持込PC等からアクセスする場合のみ表示されます。
※Windows 7、Windows Vistaの場合は、ユーザー名の前に”kudos-ad¥”をつけてください。
(例:ユーザ名が”1234567890a”の場合 → “kudos-ad¥1234567890a”)

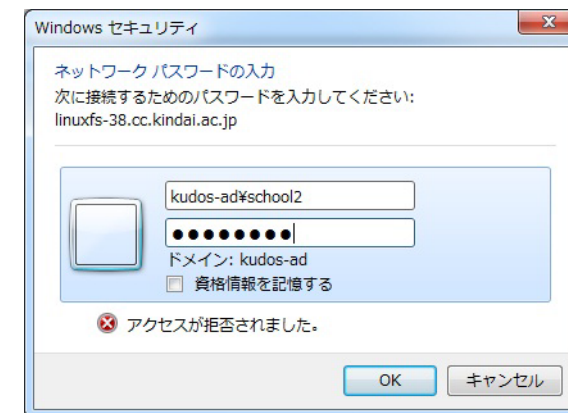
⇒ 共有領域 (learningフォルダ)にアクセスする場合

- ① を以下に置き換えて操作して下さい。

検索ボックス に“¥¥163.51.27.226¥learning”を
入力して Enterキー を押します。



①スタートボタン ②検索ボックス ③検索結果

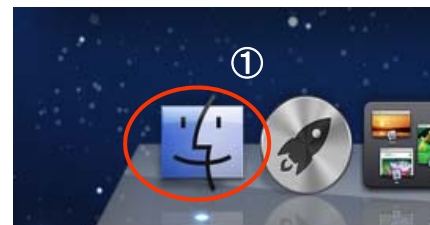


2-1-2 全学ファイルサーバへのリモート接続手順 (Mac)

『MacでSMB接続 (Finder) の場合』の場合

⇒ ホームディレクトリに接続する場合

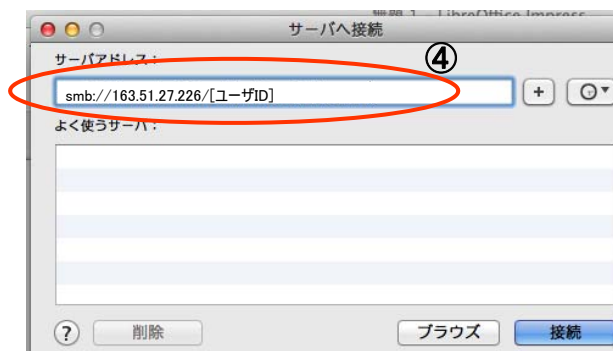
- ① 「Finder」を起動します。
- ② 画面上部のメニューの「移動」をクリックします。
- ③ 「サーバへ接続」をクリックします。
- ④ 下記コマンドを入力します。
`smb://163.51.27.226/[ユーザID]`
- ⑤ 「名前」(ユーザID)と「パスワード」を入力します。
※持込PC等からアクセスする場合のみ表示されます。



⇒ 共有領域 (learningフォルダ) にアクセスする場合

- ④を以下に置き換えて操作して下さい。

`smb://163.51.27.226/learning`



2-1-3 全学ファイルサーバへのリモート接続手順(各OS共通)

『Webブラウザでの接続』の場合

⇒ ホームディレクトリに接続する場合

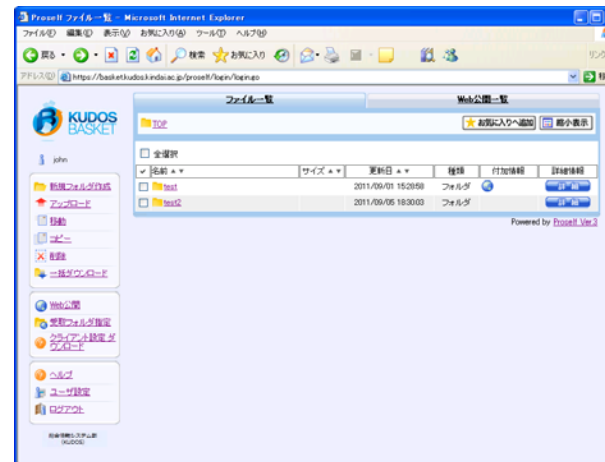
- ① Webブラウザから「<https://basket.kudos.kindai.ac.jp/>」を入力し、移動をクリックします。
- ② ユーザID・PASSWORDを入力し、「ログイン」をクリックします。
 - ・「ユーザID」： 教育系ユーザID
 - ・「PASSWORD」： ご自身のパスワード
- ③ ログインされると右画面(以下ディレクトリ)の表示となります。
 - ・ホームディレクトリ(ご自身のホームディレクトリ)

※ WebDAVプロトコルや専用クライアントでエクスプローラのように利用することができます。
詳しいご利用方法については、『[KUDOS BASKET 利用手引き](#)』をご確認ください。

①



③



2-2 38号館ファイルサーバへのリモート接続方法(1/3)

38号館ファイルサーバへのリモート接続方法一覧(Windows)

ご利用の教室	ご利用のOS	利用できるソフトウェア	接続先	接続手順	参照先
東大阪キャンパス 各号館 PC教室 クライアント 情報コンセント 無線LAN 研究室	Windows	エクスプローラ等	home (38号館/OSEC Vine)	¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥[ユーザID]	16 ページ
			home (38号館/OSEC Scientific)	¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥scientific38¥[ユーザID]	
			home (KUDOS Scientific)	¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥scientific_KUDOS¥[ユーザID]	
			learning (※1)	¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥learning	
		Tera Term	接続先	linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp (初期ディレクトリ: /home/linuxfs/vine38/[ユーザID])(※2)	17~18 ページ
			home (38号館/OSEC Vine)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後、そのままご利用になれます)(※2)	
			home (38号館/OSEC Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd /home/linuxfs/scientific38	
			home (KUDOS Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd /home/linuxfs/scientific_KUDOS	
		FFFTP	接続先	linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp (初期ディレクトリ: /home/linuxfs/[ユーザID])(※3)	19~20 ページ
			home (38号館/OSEC Vine)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) vine38 に移動する	
			home (38号館/OSEC Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) scientific38 に移動する	
			home (KUDOS Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) scientific_KUDOS に移動する	
		WinSCP3 (SFTP モード) (※4)	接続先	linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp (初期ディレクトリ: /home/linuxfs/[ユーザID])(※3)(※4)	21~22 ページ
			home (38号館/OSEC Vine)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) vine38 に移動する(※4)	
			home (38号館/OSEC Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) scientific38 に移動する	
			home (KUDOS Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) scientific_KUDOS に移動する	
		learning (※1)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) /home/linuxfs/learning に移動する		

※1 どなたでもデータを置いていただけますが、learningディレクトリ直下のファイル・ディレクトリの削除については所有者にしかできません。

※2 SSH・SCPの初期ディレクトリは/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]です。変更することも可能です(詳細は2-2-13を参照してください)。

※3 FTP・SFTPの初期ディレクトリは接続用のディレクトリであるため、ファイル保存等の操作は行えません。ファイル保存等は各OSのホームディレクトリまたは共有ディレクトリ(learning)で行って下さい。

※4 WinSCPをSCPモードに設定して接続した場合は、SSH(Tera Term)と同様、初期ディレクトリが/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]となります。

2-2 38号館ファイルサーバへのリモート接続方法(2/3)

38号館ファイルサーバへのリモート接続方法一覧(Mac)

ご利用の教室	ご利用のOS	利用できるソフトウェア	接続先	接続手順	参照先
東大阪キャンパス 各号館 PC教室 クライアント 情報コンセント 無線LAN 研究室	Mac	Finder	home (38号館/OSEC Vine)	smb://linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/[ユーザID]	26ページ
			home (38号館/OSEC Scientific)	※本手順では接続できません。SFTP等をご利用ください。	-
			home (KUDOS Scientific)	※本手順では接続できません。SFTP等をご利用ください。	-
			learning(※1)	smb://linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/learning	26ページ

38号館ファイルサーバへのリモート接続方法一覧(Linux/Mac)

ご利用の教室	ご利用のOS	利用できるソフトウェア	接続先	接続手順	参照先
東大阪キャンパス 各号館 PC教室 クライアント 情報コンセント 無線LAN 研究室	Linux/ Mac (※2)	smbclient コマンド	home (38号館/OSEC Vine)	smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/homes -U [ユーザID]	27ページ
			home (38号館/OSEC Scientific)	smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/scientific38 -U [ユーザID] → cd [ユーザID]	
			home (KUDOS Scientific)	smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/scientific_KUDOS -U [ユーザID] → cd [ユーザID]	
			learning(※1)	smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/learning -U [ユーザID]	

※1 どなたでもデータを置いていただけますが、learningディレクトリ直下のファイル・ディレクトリの削除については所有者にしかできません。

※2 Mac OS X Mountain Lion (10.8) 以降ではsmbclientはご利用いただけません。代わりにSFTP等のコマンドをご利用ください。

2-2 38号館ファイルサーバへのリモート接続方法(3/3)

38号館ファイルサーバへのリモート接続方法一覧(Linux/Mac)

ご利用の教室	ご利用のOS	利用できるソフトウェア	接続先	接続手順	参照先
東大阪キャンパス 各号館 PC教室 クライアント 情報コンセント 無線LAN 研究室	Linux /Mac	sshコマンド	接続コマンド	ssh -l [ユーザID] linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp (初期ディレクトリ:/home/linuxfs/vine38/[ユーザID])(※1)	28 ページ
			home (38号館/OSEC Vine)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後、そのままご利用になれます) (※1)	
			home (38号館/OSEC Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd /home/linuxfs/scientific38	
			home (KUDOS Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd /home/linuxfs/scientific_KUDOS	
		learning (※2)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd /home/linuxfs/learning		
		ftpコマンド	接続コマンド	ftp linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp (初期ディレクトリ:/home/linuxfs/[ユーザID]) (※3)	29 ページ
			home (38号館/OSEC Vine)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd vine38	
			home (38号館/OSEC Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd scientific38	
			home (KUDOS Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd scientific_KUDOS	
		learning (※2)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd /home/linuxfs/learning		
		sftpコマンド	接続コマンド	sftp [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp (初期ディレクトリ:/home/linuxfs/[ユーザID]) (※3)	30 ページ
			home (38号館/OSEC Vine)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd vine38	
			home (38号館/OSEC Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd scientific38	
			home (KUDOS Scientific)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd scientific_KUDOS	
		learning (※2)	(linuxfs-38.cc.kindai.ac.jpに接続後) cd /home/linuxfs/learning		
		scpコマンド	home (38号館/OSEC Vine)	scp [ファイル名] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:~/[転送先パス] (※1)	31 ページ
home (38号館/OSEC Scientific)	scp [ファイル名] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]/[転送先パス]				
home (KUDOS Scientific)	scp [ファイル名] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]/[転送先パス]				
learning (※2)	scp [ファイル名] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/learning/[転送先パス]				

※1 SSH・SCPの初期ディレクトリは/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]です。変更することも可能です(詳細は2-2-13を参照してください)。


※2 どなたでもデータを置いていただけますが、learningディレクトリ直下のファイル・ディレクトリの削除については所有者にしかできません。

※3 FTP・SFTPの初期ディレクトリは接続用のディレクトリであるため、ファイル保存等の操作は行えません。ファイル保存等は各OSのホームディレクトリまたは共有ディレクトリ(learning)で行って下さい。

2-2-1 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

『Windowsファイル共有での接続』の場合

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)に接続する場合

- ① [スタート] ボタン  をクリックし、検索ボックスに“¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥[ユーザID]”を入力します。
- ② 入力後、Enterキー を押します。
※検索結果欄に表示されたフォルダ(ユーザID)をクリックしても同様の操作となります。
- ③ ユーザ名・パスワードを入力します。
※持込PC等からアクセスする場合のみ表示されます。
※Windows 7、Windows Vistaの場合は、ユーザー名の前に”kudos-ad¥”をつけてください。
(例:ユーザ名が”1234567890a”の場合 → “kudos-ad¥1234567890a”)

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)に接続する場合

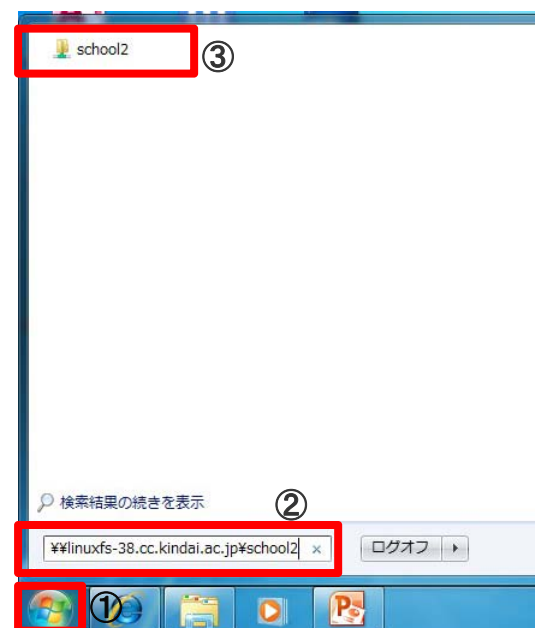
- ① を以下に置き換えて操作して下さい。
検索ボックスに“¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥scientific38¥[ユーザID]”を入力して「OK」をクリックします。

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)に接続する場合

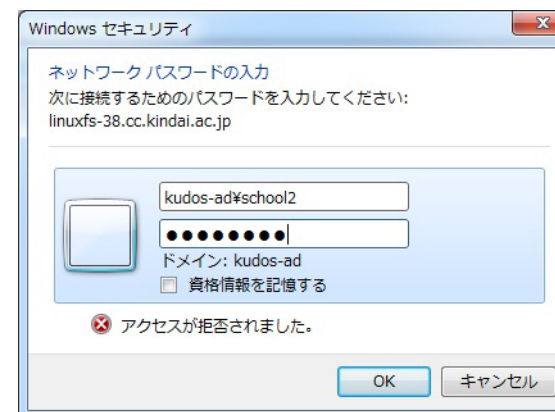
- ① を以下に置き換えて操作して下さい。
検索ボックスに“¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥scientific_KUDOS¥[ユーザID]”を入力して「OK」をクリックします。

⇒ 共有領域(learningフォルダ)にアクセスする場合

- ① を以下に置き換えて操作して下さい。
検索ボックスに“¥¥linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp¥learning”を入力して「OK」をクリックします。



①スタートボタン ②検索ボックス ③検索結果



2-2-2 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

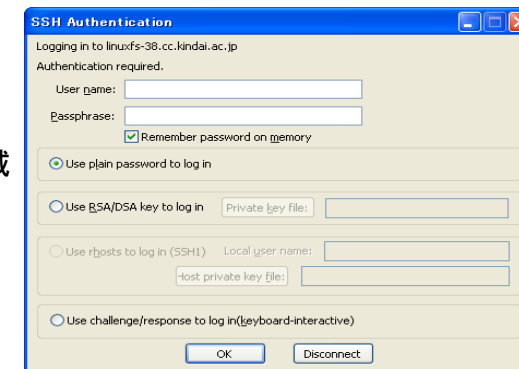
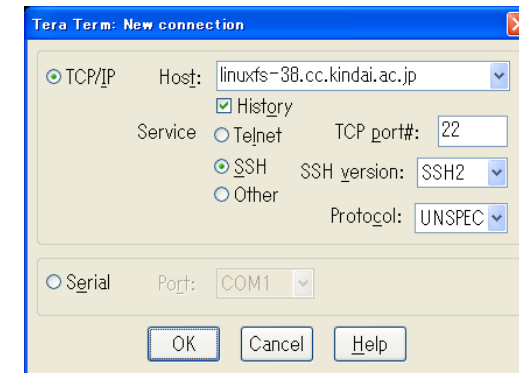
『WindowsでSSH接続 (Tera Term)』の場合(1/2)

- ① 「Tera Term」を起動
- ② 「Host」に“linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp”を入力し、「Service」で「SSH」を選択して「OK」をクリックします。
- ③ SECURITY WARNINGの画面が表示される場合がありますが、「Continue」をクリックして下さい。
- ④ 「User name」と「Passphrase」を入力しOKをクリックします
 - ・ User name : ユーザID
 - ・ Passphrase : 自身のパスワード

※ログイン時のホームディレクトリは、38号館/OSEC Vine のホームディレクトリ領域 /home/linuxfs/vine38/[ユーザID]

となっています。他のディレクトリを利用したい場合は、次ページの手順に従って各OSのホームディレクトリまたは共有領域 (learning) にアクセスしてください。

※ログイン時のホームディレクトリを変更する方法は、2-2-13を参照ください。



2-2-2 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows)

『WindowsでSSH接続(Tera Term)』の場合(2/2)

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

①～④の操作により、そのままお使いいただけます。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

⑤ ①～④の操作にてログイン後、以下のコマンドを実行して下さい。

`cd /home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]`

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

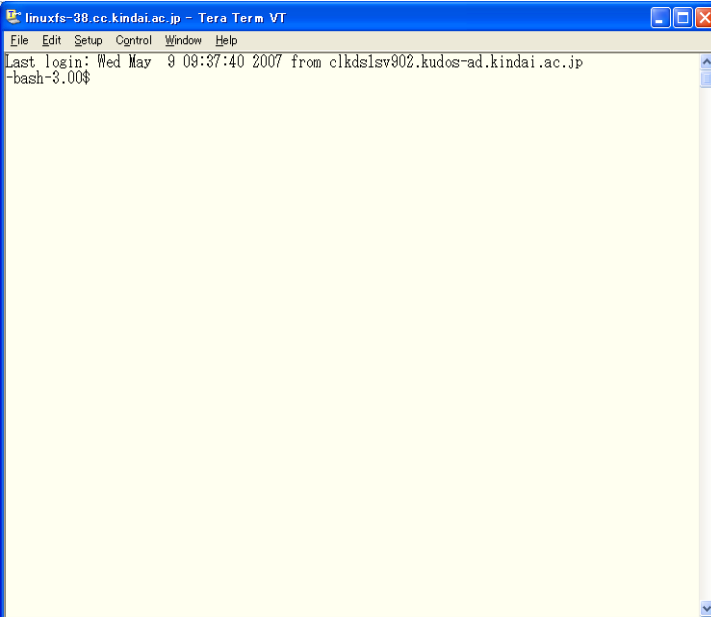
⑥ ①～④の操作にてログイン後、以下のコマンドを実行して下さい。

`cd /home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]`

⇒ 共有領域(learningフォルダ)にアクセスする場合

⑦ ①～④の操作にてログイン後、以下のコマンドを実行して下さい。

`cd /home/linuxfs/learning`



```
linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp - Tera Term VT
File Edit Setup Control Window Help
Last login: Wed May 9 09:37:40 2007 from clkds1sv902.kudos-ad.kindai.ac.jp
-bash-3.00$
```

2-2-3 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

『WindowsでSSH接続 (Secure Shell Client)』の場合

- ① 「Secure Shell Client」を起動
- ② Secure Shell ClientのQuick Connectで下記の内容で接続します。
 - ・Host Name: [**linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp**]
 - ・User Name: ユーザID
- ③ パスワードを入力します。

※ログイン時のホームディレクトリは、38号館/OSEC Vineのホームディレクトリ領域 /home/linuxfs/vine38/[ユーザID] となっています。他のディレクトリを利用したい場合は、次ページの手順に従って各OSのホームディレクトリまたは共有領域 (learning) にアクセスしてください。
※ログイン時のホームディレクトリを変更する方法は、2-2-13を参照ください。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ①～③の操作により、そのままお使いいただけます。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

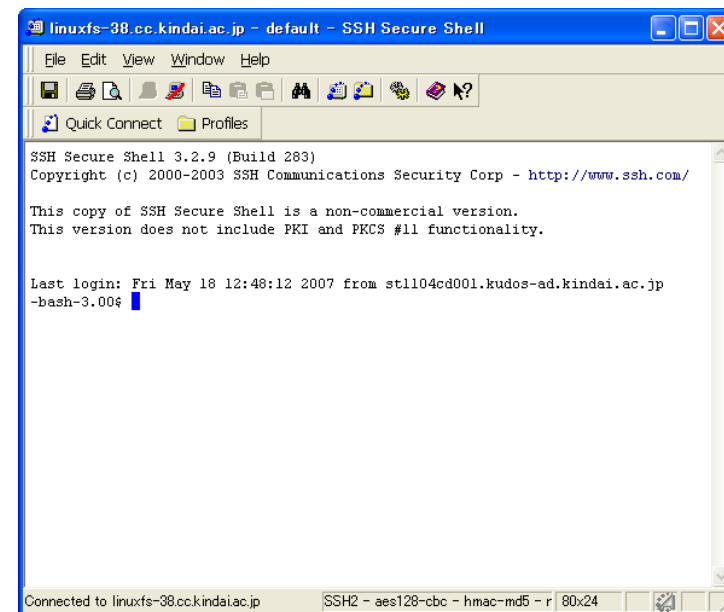
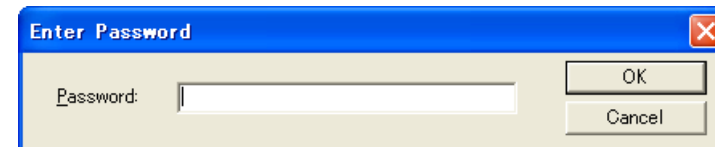
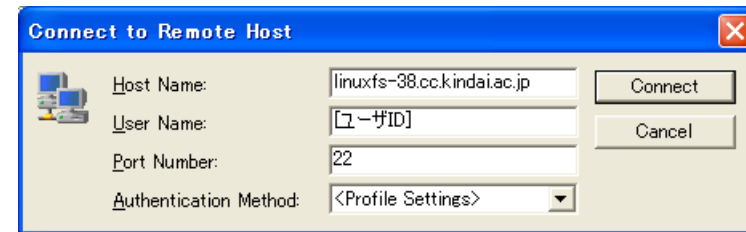
- ④ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを実行して下さい。
`cd /home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]`

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ⑤ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを実行して下さい。
`cd /home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]`

⇒ 共有領域 (learningフォルダ) にアクセスする場合

- ⑥ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを実行して下さい。
`cd /home/linuxfs/learning`

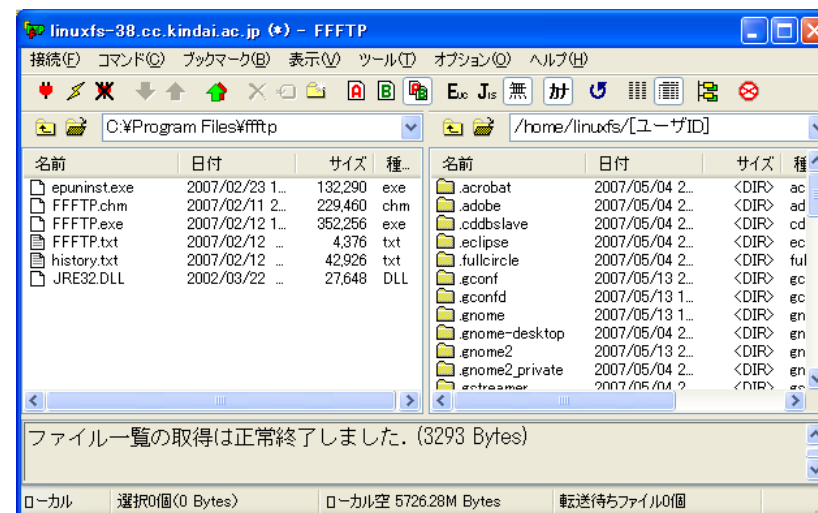
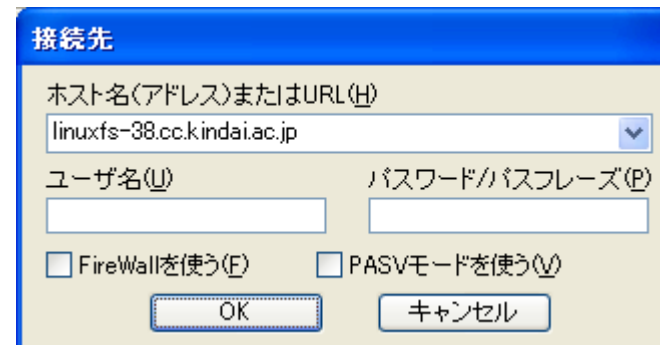


2-2-4 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

『FTPファイル転送での接続(FFFTP)』の場合(1/2)

- ①「FFFTP」を起動します。
- ②FFFTPのクイック接続で下記の内容で接続します。
 - ・ホスト名: [linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp]
 - ・ユーザ名: ユーザID
 - ・パスワード: 自身のパスワード

※ログイン時に接続される初期ディレクトリでは
ファイル保存等の操作は行えませんので、次ページ以降の
手順に従って各OSのホームディレクトリまたは
共有領域 (learningフォルダ) にアクセスしてください。



2-2-4 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

『FTPファイル転送での接続(FFFTP)』の場合(2/2)

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ③ ①～②の操作にてログイン後、「vine38」フォルダをダブルクリックして移動します。
※/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

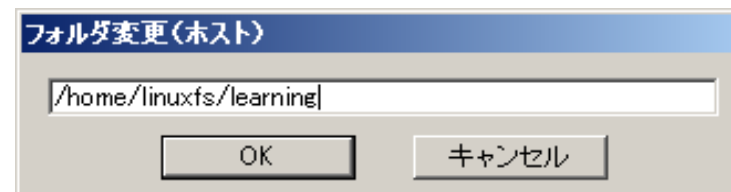
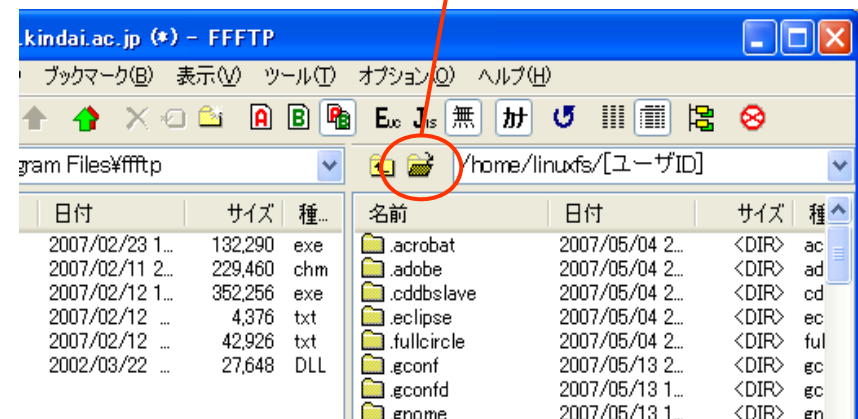
- ④ ①～②の操作にてログイン後、「scientific38」フォルダをダブルクリックして移動します。
※/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ⑤ ①～②の操作にてログイン後、「scientific_KUDOS」フォルダをダブルクリックして移動します。
※/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ 共有領域(learningフォルダ)にアクセスする場合

- ⑥ ①～②の操作にてログイン後、「フォルダの移動」ボタン(右上図参照)をクリックし、「/home/linuxfs/learning」と入力後「OK」をクリックします。



2-2-5 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

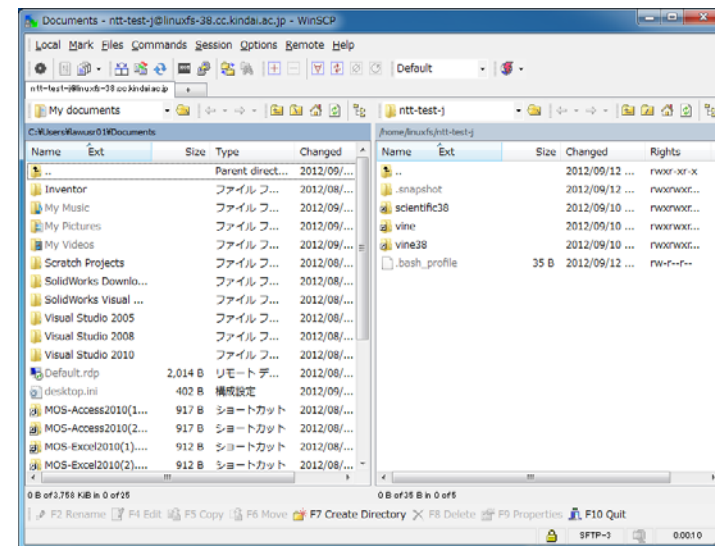
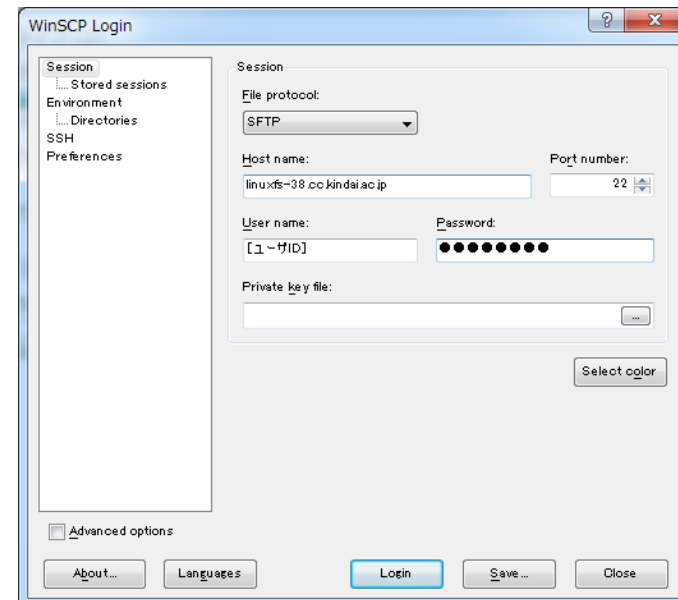
『SFTPファイル転送での接続 (WinSCP3)』の場合 (1/2)

- ①「WinSCP3」を起動します。
- ②「File_Protocol」が「SFTP」になっていることを確認し、「Host name」と「User name」及び「Password」を入力して「Login」をクリックします。

- ・ホスト名: [linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp]
- ・ユーザ名: ユーザID
- ・パスワード: 自身のパスワード

※ログイン時に接続される初期ディレクトリではファイル保存等の操作は行えませんので、次ページの手順に従って各OSのホームディレクトリまたは共有領域 (learningフォルダ) にアクセスしてください。

※ProtocolをSCPにした場合は、初期ディレクトリはSSHと同様、38号館/OSEC Vine のホームディレクトリ `/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]` となりますのでご注意ください。
SSH・SCPの初期ディレクトリを変更する方法は、2-2-13を参照ください。



2-2-5 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

『SFTPファイル転送での接続 (WinSCP3)』の場合(2/2)

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ③ ①～②の操作にてログイン後、「vine38」ディレクトリをダブルクリックします。

※/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

- ④ ①～②の操作にてログイン後、「scientific38」ディレクトリをダブルクリックします。

※/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

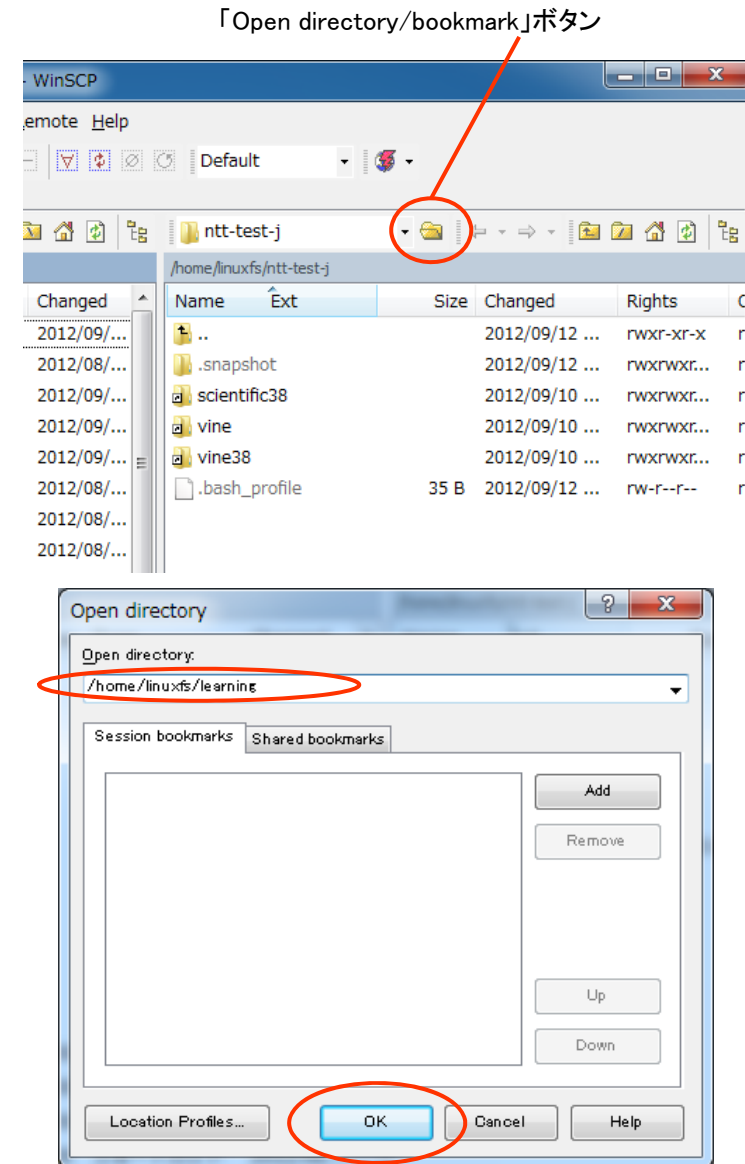
⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ⑤ ①～②の操作にてログイン後、「scientific_KUDOS」ディレクトリをダブルクリックします。

※/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ 共有領域 (learningフォルダ)にアクセスする場合

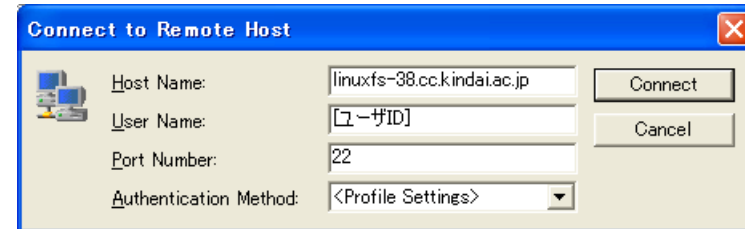
- ⑥ ①～②の操作にてログイン後、「Open directory/bookmark」ボタン(右上図参照)をクリックし、「/home/linuxfs/learning」と入力後「OK」をクリックします。



2-2-6 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順 (Windows)

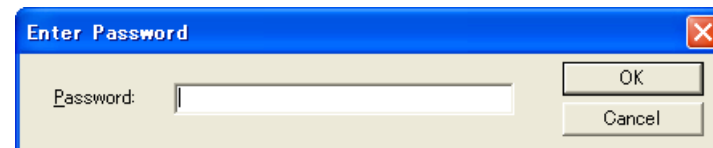
『SFTPファイル転送での接続 (Secure File Transfer Client)』の場合(1/2)

① 「Secure File Transfer Client」を起動します。



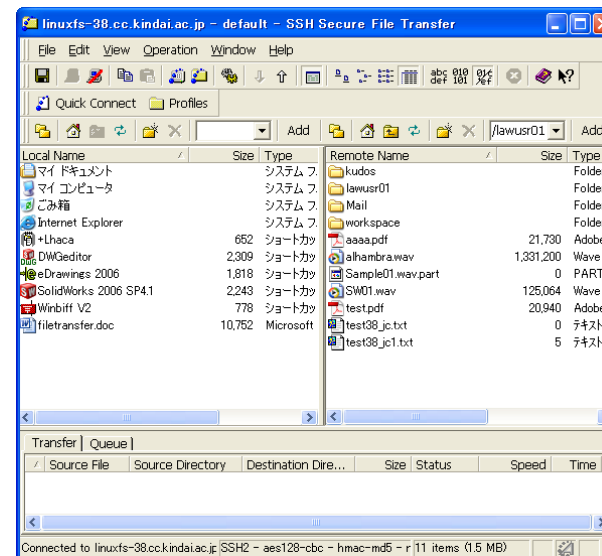
② Secure File Transfer ClientのQuick Connectで下記の内容で接続します。

- Host Name: [linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp]
- User Name: ユーザID



③ パスワードを入力します。

※ログイン時に接続される初期ディレクトリではファイル保存等の操作は行えませんので、次ページの手順に従って各OSのホームディレクトリまたは共有領域 (learningフォルダ) にアクセスしてください。



2-2-6 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Windows)

『SFTPファイル転送での接続(Secure File Transfer Client)』の場合(2/2)

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ④ ①～③の操作にてログイン後、「vine38」ディレクトリをダブルクリックします。

※/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

- ⑤ ①～③の操作にてログイン後、「scientific38」ディレクトリをダブルクリックします。

※/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

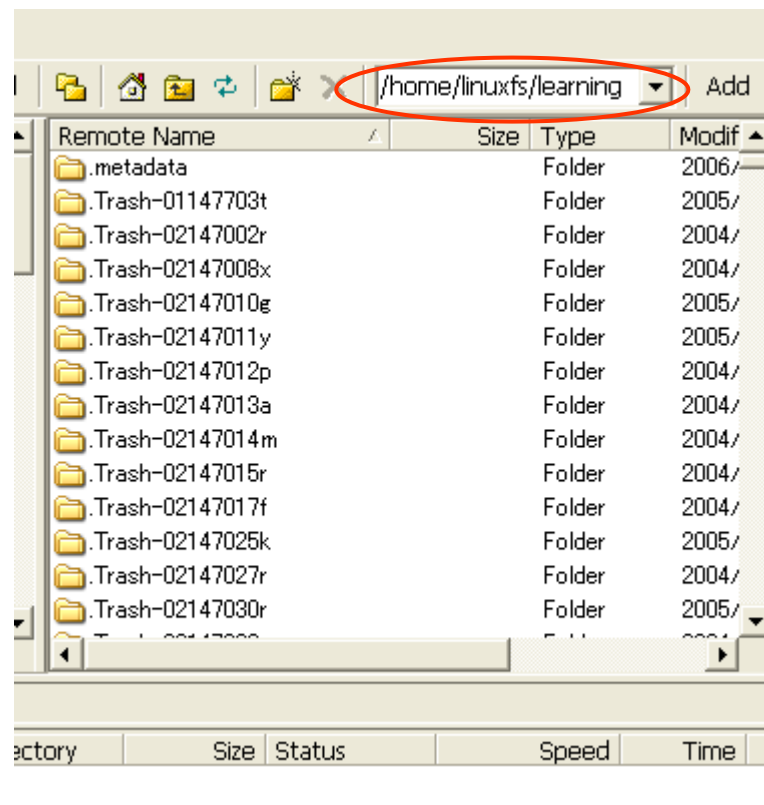
⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ⑥ ①～③の操作にてログイン後、「scientific_KUDOS」ディレクトリをダブルクリックします。

※/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ 共有領域(learningフォルダ)にアクセスする場合

- ⑦ ①～③の操作にてログイン後、ウィンドウ右側上部にあるテキスト領域内(右上図参照)をクリックし、「/home/linuxfs/learning」と入力後「Enter」キーを押下します。



2-2-7 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Mac)

『MacでSMB接続(Finder)』の場合

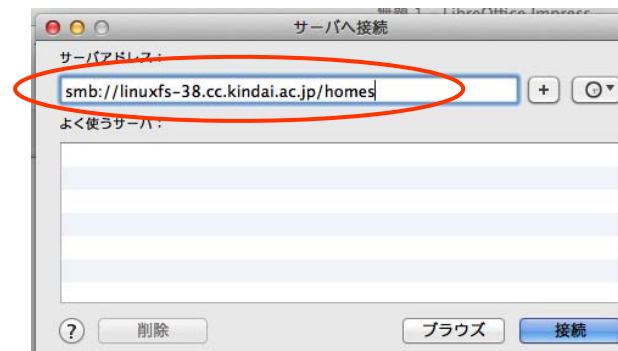
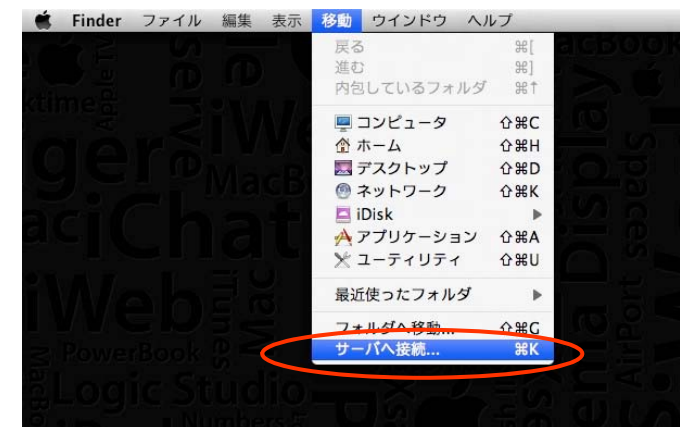
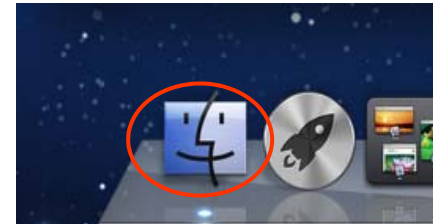
⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ①「Finder」を起動します。
- ②画面上部の移動をクリックします。
- ③サーバへ接続をクリックします。
- ④下記コマンドを入力します。
`smb://linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/homes`
- ⑤「名前」(ユーザID)と「パスワード」を入力します。
※持込PC等からアクセスする場合のみ表示されます。

⇒ 共有領域(learningディレクトリ)にアクセスする場合

- ④を以下に置き換えて操作してください。
`smb://linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/learning`

※Finderでは、
ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)、および
ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)への接続はできません。
代わりにSFTP等のコマンドをご利用ください。



2-2-8 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac)

『**smbclientコマンドでの接続**』の場合 ※Mac OS X Mountain Lion (10.8) 以降にはsmbclientは導入されていません。代わりにSFTP等をご利用ください。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ①新規ターミナルを開きます。
- ②下記コマンドを入力します。
smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/homes -U [ユーザID]
(※上記コマンドで接続出来ない場合は「-W KUDOS-AD」オプションを加えてください。
smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/homes -W KUDOS-AD -U [ユーザID])
- ③パスワードを入力します。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

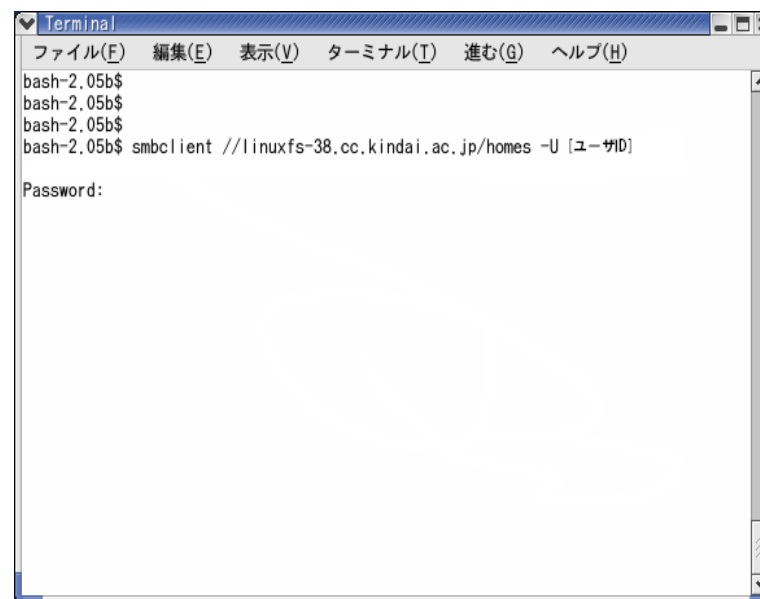
- ②を以下に置き換えて操作してください。
smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/scientific38 -U [ユーザID]
また、パスワード入力後は、以下のコマンドを入力してください。
cd [ユーザID]

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ②を以下に置き換えて操作してください。
smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/scientific_KUDOS -U [ユーザID]
また、パスワード入力後は、以下のコマンドを入力してください。
cd [ユーザID]

⇒ 共有領域(learningディレクトリ)にアクセスする場合

- ②を以下に置き換えて操作してください。
smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/learning -U [ユーザID]



```
Terminal
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
bash-2.05b$
bash-2.05b$
bash-2.05b$
bash-2.05b$ smbclient //linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp/homes -U [ユーザID]
Password:
```

2-2-9 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac)

『sshコマンドでの接続』の場合

- ①新規ターミナルを開きます
- ②下記コマンドを入力します。
`ssh -l [ユーザID] linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp`

- ③ パスワードを入力します。

※ログイン時のホームディレクトリは、Vine<UTF-8>のホームディレクトリ領域
`/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]`

となっています。他のディレクトリを利用したい場合は、次ページの手順に従って
各OSのホームディレクトリまたは共有領域(learning)にアクセスしてください。

※ログイン時のホームディレクトリを変更する方法は、2-2-13を参照ください。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ①～③の操作により、そのままお使いいただけます。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

- ④ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを入力して下さい。

`cd /home/linuxfs/scientific38`

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

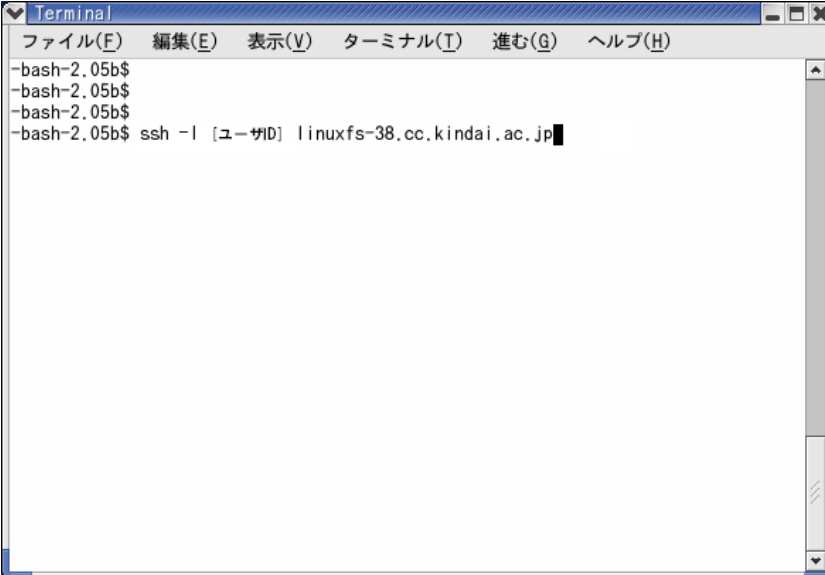
- ⑤ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを入力して下さい。

`cd /home/linuxfs/scientific_KUDOS`

⇒ 共有領域(learningディレクトリ)にアクセスする場合

- ⑥ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを入力して下さい。

`cd /home/linuxfs/learning`



```
Terminal
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(Q) ヘルプ(H)
-bash-2.05b$
-bash-2.05b$
-bash-2.05b$
-bash-2.05b$ ssh -l [ユーザID] linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp
```

2-2-10 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac)

『ftpコマンドでの接続』の場合

- ①新規ターミナルを開きます
- ②下記コマンドを入力します。
ftp linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp
- ③ ユーザIDとパスワードを入力します。

※ログイン時に接続される初期ディレクトリでは
ファイル保存等の操作は行えませんので、以下の
手順に従って各OSのホームディレクトリまたは
共有領域(learningディレクトリ)にアクセスしてください。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ④ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

cd vine38

※/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

- ⑤ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

cd scientific38

※/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ⑥ ①～②の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

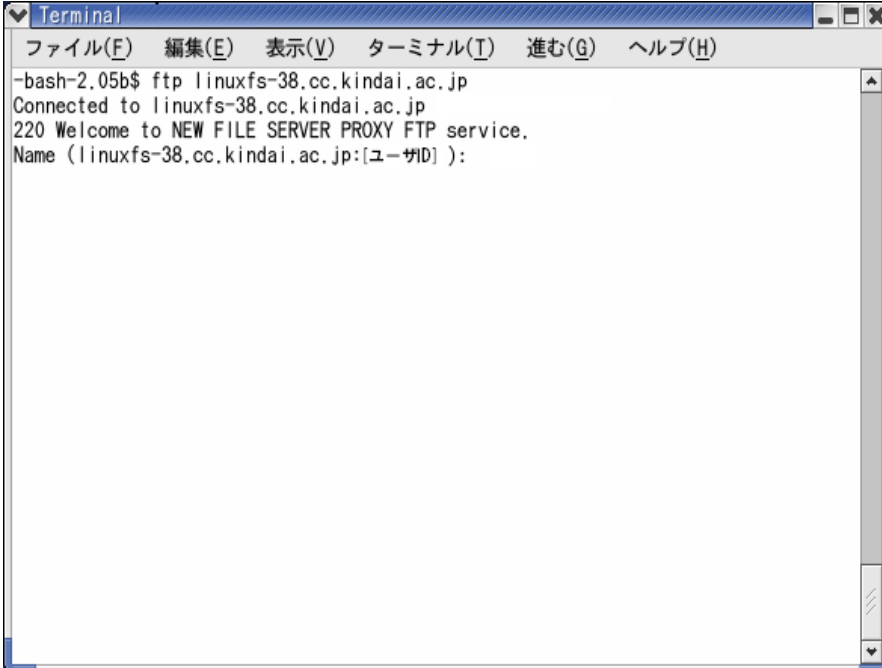
cd scientific_KUDOS

※/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ 共有領域(learningディレクトリ)にアクセスする場合

- ⑦ ①～②の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

cd /home/linuxfs/learning



```
Terminal
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
-bash-2.05b$ ftp linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp
Connected to linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp
220 Welcome to NEW FILE SERVER PROXY FTP service.
Name (linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:[ユーザID]):
```

2-2-11 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac)

『sftpコマンドでの接続』の場合

- ①新規ターミナルを開きます
- ②下記コマンドを入力します。
`sftp [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp`
- ③ パスワードを入力します。

※ログイン時に接続される初期ディレクトリでは
ファイル保存等の操作は行えませんので、以下の
手順に従って各OSのホームディレクトリまたは
共有領域 (learningディレクトリ)にアクセスして下さい。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ④ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

`cd vine38`

※/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

- ⑤ ①～③の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

`cd scientific38`

※/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ⑥ ①～②の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

`cd scientific_KUDOS`

※/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]へのシンボリックリンクです。

⇒ 共有領域 (learningディレクトリ)にアクセスする場合

- ⑦ ①～②の操作にてログイン後、以下のコマンドを
入力して下さい。

`cd /home/linuxfs/learning`



```
Terminal
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
bash-2.05b$
bash-2.05b$
bash-2.05b$ sftp [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp
Connecting to linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp...
[ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp's password: █
```

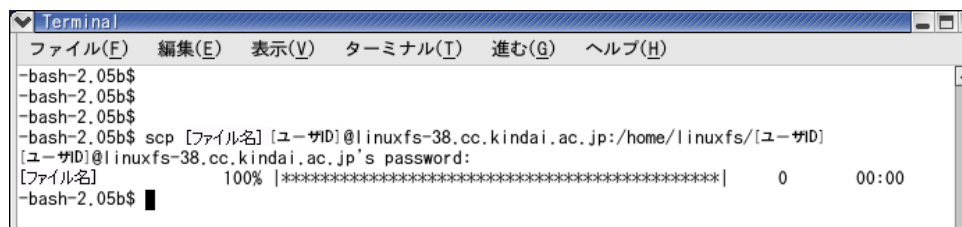
2-2-12 38号館ファイルサーバへのリモート接続手順(Linux/Mac)

『scpコマンドでの接続』の場合

- ①新規ターミナルを開きます

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Vine)にアクセスする場合

- ②下記コマンドを入力します。
【アップロード】 `scp [転送元ファイル] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:~/[転送先パス]`
【ダウンロード】 `scp [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:~/[転送元ファイル] [転送先パス]`
- ③ パスワードを入力します。



```
Terminal
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
-bash-2.05b$
-bash-2.05b$
-bash-2.05b$
-bash-2.05b$ scp [ファイル名] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/[ユーザID]
[ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp's password:
[ファイル名] 100% |*****| 0 00:00
-bash-2.05b$
```

⇒ ホームディレクトリ(38号館/OSEC Scientific)にアクセスする場合

- ④下記コマンドを入力します。
【アップロード】 `scp [転送元ファイル] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID] (/[転送先パス])`
【ダウンロード】 `scp [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]/[転送元ファイル] [転送先パス]`
- ⑤ パスワードを入力します。

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)にアクセスする場合

- ⑥下記コマンドを入力します。
【アップロード】 `scp [転送元ファイル] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID] (/[転送先パス])`
【ダウンロード】 `scp [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]/[転送元ファイル] [転送先パス]`
- ⑦ パスワードを入力します。

⇒ 共有領域(learningディレクトリ)にアクセスする場合

- ⑧下記コマンドを入力します。
【アップロード】 `scp [転送元ファイル] [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/learning(/[転送先パス])`
【ダウンロード】 `scp [ユーザID]@linuxfs-38.cc.kindai.ac.jp:/home/linuxfs/learning/[転送元ファイル] [転送先パス]`
- ⑨ パスワードを入力します。

※SCP・SSHのホームディレクトリ(~)は、Vine(UTF-8)のホームディレクトリ領域 /home/linuxfs/vine38/[ユーザID] となっています。
変更する方法は、2-2-13を参照ください。

2-2-13 SSH/SCPの初期ディレクトリ変更手順

SSH・SCPで接続する場合の初期ディレクトリは、38号館／OSEC Vine Linux用ホームディレクトリ /home/linuxfs/vine38/[ユーザID] に設定されています。

Scientific Linuxをメインでお使いの場合、初期ディレクトリを以下の手順で変更していただけます。

- ①Tera Termまたはターミナルより、SSH接続を行います。
(詳細は2-2-2、2-2-3、または2-2-9を参照してください)
- ②下記コマンドを入力します。
`cd /home/linuxfs/[ユーザID]`
`cd .ssh`
- ③設定ファイルをテキストエディタ(vi等)で開きます。(※テキストエディタの使用方法については、Webページ等にてご確認ください。)
`vi environment` (viで開く場合の例)

⇒ ホームディレクトリ(38号館／OSEC Scientific)を初期ディレクトリにする場合

- ④environmentファイルの内容を以下のように書き換えてください。(書き換え箇所は下線で示しています)
`HOME=/home/linuxfs/scientific38/[ユーザID]`

⇒ ホームディレクトリ(KUDOS Scientific)を初期ディレクトリにする場合

- ⑤ environmentファイルの内容を以下のように書き換えてください。(書き換え箇所は下線で示しています)
`HOME=/home/linuxfs/scientific_KUDOS/[ユーザID]`

⇒ 変更した初期ディレクトリを、ホームディレクトリ(38号館／OSEC Vine)に戻す場合

- ⑥ environmentファイルの内容を以下のように書き換えてください。(書き換え箇所は下線で示しています)
`HOME=/home/linuxfs/vine38/[ユーザID]`